

坊つちゃん
振り返って見つめる

夏 复っ 目ゃ 漱^ξδ 石*

ねらい

主人公の人物像を読み取ろう。

語句の使われ方や、表現の仕方に注意して読もう。

2 1

読解の道しるべ・ ウォーミングアップ

|「坊っちゃん」の性格

親譲りの無鉄砲で、子供のときから損ばかりしている。

事件1 同級生「そこから飛び降りることはできまい、弱虫やーい」

→学校の二階から飛び降りて一週間ほど腰を抜かした。

→ 「この次は抜かさずに飛んでみせます」

おやじ「二階ぐらいから飛び降りて腰を抜かすやつがあるか」

親類の者から西洋製のナイフをもらった。

事 件 2

友達「光ることは光るが切れそうもない」「君の指を切ってみろ」

→右の手の親指の甲をはすに切り込んだ。

隣のせがれ(年上)が栗を盗みにきた。 →つらまえて、つき倒した。

事 件 3

■周囲の人々からの評価

清點	町内	兄	母	おやじ
将来立身出世して立派になると期待をかけていた。「あなたはまっすぐでよいご気性だ。」と褒め、かあいがってくれた。	乱暴者の悪太郎とつまはじきをされる。	十日に一ぺんぐらいの割でけんかをしていた。	兄ばかりひいきにしていた。「乱暴で乱暴で行く先が案じられる」	「こいつはどうせろくな者にはならない」ちっとも俺をかあいがってくれなかった。

1

商家にホウコウに出る。

□② テヌグいを忘れた。

2

線の片仮名を漢字で書きなさい。

「坊っちゃん」は、 な性格で、子供のときから ばかりしている。人に好かれる性格ではないが、 だけは愛情と信頼を寄せてくれた。
--

□① 通りの角にある質屋。 () ――線の読み仮名を書きなさい。	_
\smile	
通りの角にある質屋。	□② 海外に赴任する。
)	
零落した貴族が住む家。	□④ 無鉄砲な行動をたしなめる。
<u> </u>	
こうにはしまなくい。	こうというできます。

眉をひそめる。	を寄せる。	□⑪ 眉間にしわを寄せる。
)	<u> </u>	
大丈夫だと請け合う。	周旋する。□⑩	□⑨ 防災用品を周旋する。
)	<u>`</u>	^
鍋焼きうどんを食べる。	される。 □8	□⑦ 父親に勘当される。
)	<u>`</u>	
□⑥ 泉から水が湧き出る。	(1)	□⑤ この子は気性が激-
()	\smile	
無鉄砲な行動をたしなめる。	零落した貴族が住む家。□④	□③ 零落した書
)	\smile	^

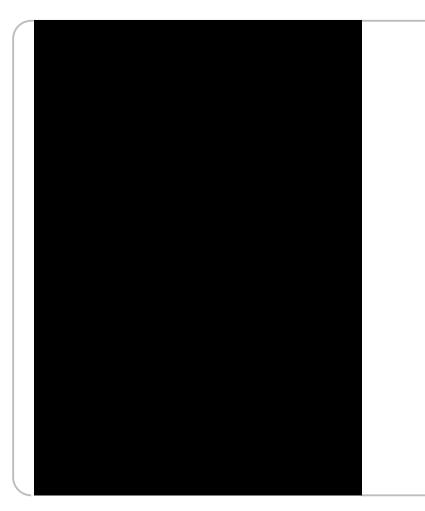
(2) (1) (1) $-$ (4) (3) (2) (1) 答	功つちゃん									
りれ味のよい包丁のハ。 関本を行ている。 保証する 喜ぶ	駅は、	玄関のベルが鳴っても、	① 次の 		İ	6.7	次の一門	(9)		$\widehat{}$
(2) (1) (1) $-$ (4) (3) (2) (1) 答	といった見当です。	ました顔で食事を続けている。	で売り払う。	保証する			の中から選び、			$\overline{}$
	/ \ /	(1)	自 案 生 任 将 質	存外	ウ さっぱりとしていること。 エールの①~③が類義語の組み合わせになるよう。 エールの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ア 広い視野に立っていること。イ 彼女は淡泊な性格だ。エ 様子	アー考え・イー	ウ 歴史があること。 エア 有名であること。 イ	これは由緒ある品物だウ 身についた エア 今まで イ	ラ 次

坊っちゃん 1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 練習問題1 教科書 P.202 Q.1~P.204 Q.3 (3)

(1) すが、無鉄砲な性格がよくわかるエピソードを、二つ書きなさい。 -線①「親譲りの無鉄砲で子供のときから損ばかりしている」とありま

口 (2) 述	
無鉄砲」	
を文中からが、いから	
9四十字以にも「親窓	
述べた部分を文中から四十字以内で書き抜きなさい。)「無鉄砲」が、いかにも「親譲り」であることがわかる「おやじ」の言動を	
抜きなさ	
い。わかる「	
おやじ」	
の言動を	
 -	

っていない「負けずぎらいな」言動が表れている部分を、文中から二十字で「俺」が「無鉄砲」なことをしたあとでも、それをしなければよかったと思		って	7				
ない「負けずぎらいな」言動が表れている部分を、文中から二十字でが「無鉄砲」なことをしたあとでも、それをしなければよかったと思		V)	他				
無鉄砲」なことをしたあとでも、それをしなければよかったと思		8,	が				
けずぎらいな」言動が表れている部分を、文中から二十字で		負	無鉄				
ぎらいな」言動が表れている部分を、文中から二十字で)	けず	砲				ľ
らいな」言動が表れている部分を、文中から二十字でとをしたあとでも、それをしなければよかったと思		ぎ	な	ļ	<u> </u>		<u>.</u>
をしたあとでも、それをしなければよかったと思		いら	ح				
言動が表れている部分を、文中から二十字で		な」	をし		i 		i -
動が表れている部分を、文中から二十字で		言	たち				
表れている部分を、文中から二十字で		動がか	2	·	 	 !	 -
ている部分を、文中から二十字で		表れ	でも		!		
れをしなければよかったと思		てい	7				i -
が分を、文中から二十字で		る	れ	ļ	<u> </u>		<u> </u> -
を、文中から二十字で		部分	をし				
文中から二十字で		を、	なけ		<u> </u>	i	i-
中から二十字で		文	れば				
ら二十字で		かか	よ	ļ	 	.	÷-
+ た 字 思		5	かっ				
で 思		士	たレ		!		i
		すで	思				L



3

		□5 ――線④「しかし傷跡は死ぬまで
		な気持ちが読み取れますか。四十字以内で書きなさい。 線④「しかし傷跡は死ぬまで消えぬ」とありますが、この表現から「俺」
	 	 が読み取がし傷跡
		 収れます
		 っか。 四 まで消
	 	 十字以
		 内で書
	 	 四十字以内で書きなさい。
	 	 いの表現
	 	 から「
- !	 	100

選び、記号で答えなさい。 □⑥ この文章には、どんな特徴がありますか。最も適切なものを次のうちから

やわらかな和語を多く使い、優雅な感じがする。

イ だじゃれが多く使われ、ふざけた感じがする。

古い言葉もあり、漢文を読むような重々しい感じがする。

簡潔で歯切れがよく、きびきびした感じがする。

I

117

定期テスト対策	□ 教科書 P 202 216	実施時間のめやす □ 20分	得点 / 100点
1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。			

□(4) ――線③「もうお別れになるかもしれません」とありますが、清の気持ちとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。 (15点) ア もうここから先は、一緒についていってあげられない。 ウ もう自分を引き取ってくれることも無理にちがいない。 つ もう自分を引き取ってくれることも無理にちがいない。		してどんな気持ちになっていますか。五十字以内で書きなさい。 (15点) □□3) ――線②「おいこそいい面の皮だ」とありますが、「俺」は「おい」に対 □□	さい。 (10点)	□② 「俺」は、清をどんな性格だと思っていますか。文中から三字で書き抜きな	´ ̄□① ――線①「こうなる」とありますが、どうなることですか。指し示す内容 │ □□
▼ 思考・表現 「坊っちゃん」と「清」が別れる場面から、あなたはどのようなことを感じたり考えたりしましたか。次の条件にしたがって、あなたの思いを書きなさい。 条件2 五十字以上八十字以内で書くこと。 条件2 五十字以上八十字以内で書くこと。	 □⑨ いたずらにつりる。(□⑨ 小たずらにつりる。(□⑩ 八生をテイカンする。(□⑩ 八生をテイカンする。(□⑩ 八生をテイカンする。(□① 湧水で有名な町。 ()□② 水稲の生産高。 (2) 次の――線の読み仮名を平仮名で、片仮名を漢字で書きなさい。(3点×10) □ () () () () () () () () ()	□(6) 『坊っちゃん』の作者を漢字で書きなさい。 (5点) (5点)	エ 自分と離れて暮らすことになって、力を落としている清が気の毒だ。ウ 清にはもう会えないのだから、きちんとお別れをしておきたかった。イ 清は親族ではないのだから、自分と一緒に暮らすのはあきらめてほしい	6.7